

関東支部 70 年の歴史

関東支部は昭和 28 年（1953 年）に創立され、令和 5 年（2023 年）で 70 周年になります。故郷を離れ散り散りになっても、年次を越えて同窓生が集まり、会報で消息を知り、絆をつないできました。支部の歴史を振り返ります。

関東支部は実は戦前からありました。前身の見付中学校の最初の卒業生が上京した昭和 2 年の 6 月に早くも東京・青山に集まり、翌年には神田で第一回東京支部会が開かれました。その後、関東支部に発展し、11 年のベルリン五輪では出場する見中出身の 3 選手の激励送別会を新宿で行い、尾崎楠馬校長が「三選手を絶対に信頼す。送られる者も送る者も存分に見中魂を発揮せよ」と電報を打ちました。3 選手ともメダルを獲得し、栄光の歴史を築きました。



昭和 7 年の関東支部会



3 選手の激励送別会

支部活動は戦争で中断しましたが、昭和 25 年、退職していた尾崎先生が教え子に同窓会の開催を呼びかけ湯島に集まり、翌年も四谷で開き、支部創立（再結成）の機運が高まりました。28 年に尾崎先生が改めて呼びかけ、創立総会の準備が始まりました。尾崎先生は病に倒れ、教え子のいる東大病院に入院することになりました。総会出席はかなわなかったのですが、手術前日に病床で祝辞草稿を書き、創立総会は予定通り 11 月 28 日に渋谷で開かれました。尾崎先生は翌年 2 月に亡くなりました。関東の同窓生のうち医師は治療に尽力し、ほかの者も看病、輸血、募金などで献身的に支えました。産業経済新聞の都内版に「尾崎先生逝く 教え子ら団結の看護のうちに」と報じられました。「重病の校長看護 卒業生の名医たち協力」(『磐南の道程』)と語り継がれています。



戦後 2 回目の同窓会（中央に尾崎先生）



昭和 28 年 11 月 28 日に開いた関東支部創立総会



関東支部は昭和 50 年に会報を発行しました（右が創刊号）。「当支部会員の数は今や二千名」「会員の動態の把握、消息の交換、意見の交流、総じてその結合を保障する手段の存在」が必要と、うたっています。思い出や近況をつづったエッセイ、同期会や出版物の紹介などが紙面を飾ってきました。「三十年ぶりの母校を訪ねて」「原点としての見中・磐南 私にとっての同窓会」などの特集記事も組まれました。



会報には総会の記録も掲載されています。如水会館、私学会館、サンケイ会館、丸之内精養軒、日本教育会館、アラスカなどで開催され、恩師も招いて旧交を温めました。同窓生による講演（セミナー）のほか、懇親会では音楽演奏、福引、クイズなどのアトラクションも企画されました。土曜日昼間の開催が多く、平成 11 年（1999 年）から 11 月の第二土曜日に定着しました。



総会でチーム対抗クイズ大会（平成 23 年）

大きな特徴は担当年次制で、卒業から約 30 年たつと総会の担当となり、その翌年が会報の担当になります。久しぶりに同期が集まり、工夫を凝らして総会、会報を担ってきたことが支部発展の原動力となってきました。

大きな特徴は担当年次制で、卒業から約 30 年たつと総会の担当となり、その翌年が会報の担当になります。久しぶりに同期が集まり、工夫を凝らして総会、会報を担ってきたことが支部発展の原動力となってきました。

平成 17 年には新卒業生歓迎会が始まりました。大学 2 年生たちが 1 年生を勧誘して多い年には OB を合わせて 100 名以上が集まりました。初めて上京した後輩たちを励まし、大学生活や就職のアドバイスをしてきました。大学の学部別に学生と OB が話し合う研鑽会を開いたこともあります。



新卒業生歓迎会（左は平成 17 年、右は 24 年）



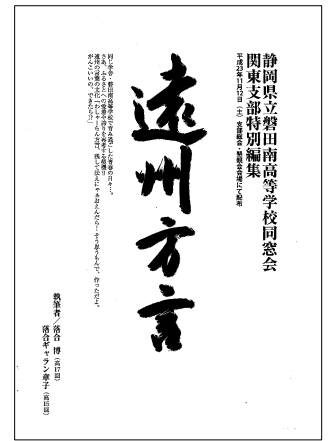
平成 25 年には関東支部創立 60 周年を迎え、この年の総会は記念総会となりました。「記念誌」を発行し、関東だけでなく全国に発送されました。記念誌は支部の歴史や会報の全記事一覧など資料性の高いものです。多くの同窓生が思い出を寄稿し、座談会では学生たちが熱い思いを語っています。このころから母校の歴史への関心が高まり、支部創立を主導した尾崎先生の日記を解読するなど研究が本格化しました。



創立 60 周年の記念総会

関東支部では総会、会報、新歓を3本柱にしながら、そのほかにも様々な活動をしてきました。

ホームページに掲載した遠州弁の替え歌が好評だったことから「遠州方言」という冊子を発行しました。同窓生が語学、建築、パソコン操作など得意分野で手助けし合う「やらまいか相互扶助」に続き、おもに学生向けに役に立つ情報をネット上で提供する「つながる磐南ブログ」を始めました。パソコン選びなどの実用情報や、東京や大阪の街の紹介もあります。ビジネス情報を交換する異業種交流会も開きました。尾崎校長と小田原勇・初代教頭が運命の出会いをした茨城県立土浦中学校（現在の土浦第一高校）を訪問したこともあります。



つながる磐南ブログ



平成31年の異業種交流会

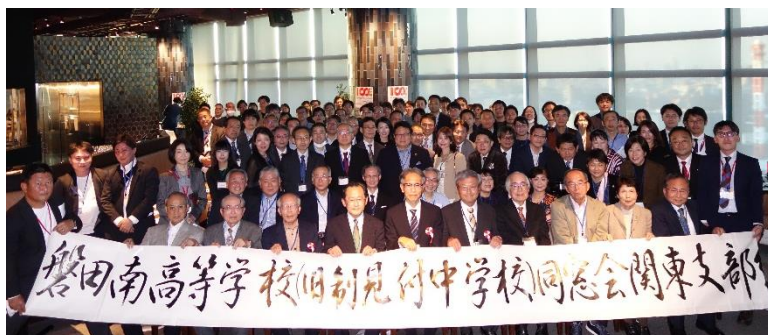


平成30年に土浦一高を訪問



令和2年のリモート総会

令和2年（2020年）に新型コロナウイルスが流行し社会活動が停滞するなかでも、関東支部はリモート総会を



令和4年、3年ぶりのリアル総会

を開催し、関東だけでなく磐田、海外からも多くの同窓生が参加し画面越しに交流しました。翌年のリモート総会では、同窓生の作曲家が中心となって収録したライブ演奏を披露しました。令和4年には3年ぶりにリアル総会を開き、100名を超える大盛況でした。

関東支部は伝統を大切にしつつ、新しい活動にも挑戦し、脈々と歴史を刻んでいます。

(2023年7月 文責・津川悟=高35回)